

地域づくり・人づくり・関係づくりをコンセプトに、生涯学習・社会教育に関する様々な情報をお届けします。(裏面もご覧下さい。)

西郷村教育基本理念「自立と共生」

令和8年4月1日(水)

中央公民館だより

No. 35

発行責任者
教育長 秋山充司

文責
館長 渡邊康一



「住民による主体的な活動の場」「みんなが気軽に集える場」

令和8年度公民館事業について (イベント・教室等)

令和8年度の各種事業については、3月に回覧板等により皆様にお知らせした通りです。西郷単位制総合大学をはじめ、様々な講座を予定しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。また、それぞれの事業は、その都度ちらし等によりご案内を差し上げております。すでに募集を開始している講座もありますので、ご不明な点は気軽に文化スポーツ課(☎25-2371)・中央公民館(☎25-2755)までお問い合わせください。

なお、文化センターのロビーには、今年度の事業のお知らせや各種ちらしを置いてありますので、自由にお持ちください。

(掲示板には、令和7年度の事業の様子と文化協会加盟団体・自主サークル団体の紹介もあります。)



<中央公民館の基本的な考え方>

現代は様々な地域課題があり、これらの課題を一人で解決するのは難しい時代になってきました。これからの課題解決には、仲間をつくる「つながりづくり」が必要です。

地域の活性化のためにも、「人づくり」「関係づくり」「地域づくり」をコンセプトとして、今年度も、村民の皆様に寄り添い、スピード感のある対応を行うことで、充実した公民館運営・事業を推進していきます。

【今年度の特色ある事業と主な取組】

- ①「源流の里 第1回にしごう RUN フェス2026」「公共ホール音楽活性化事業(箏演奏鑑賞)」【役場新庁舎落成記念】
- ②現代アート講座「ポセラーツ・コピックペン・インクアート」→中学校美術部、親子などの参加
- ③地区集会施設出前講座の促進及び講師紹介 →関係機関とのコラボによる各地区での講座
- ④文化協会加盟団体・自主サークルの育成と活性化 →講師依頼と支援(地域・学校等)
- ⑤公民館事業の周知及び地域人材の積極的な活用 →マスコミ、お便り、事業スタッフ等

地区集会施設出前講座(地区集会施設の活用促進)

羽太グリーンタウン(3/15)「感謝する会」

1年間お世話になった見守り隊の皆様をはじめ、羽太小の大倉校長先生も参加して、感謝する会を行いました。今年度最終回(10回目)の親子活動は、ネームストラップのワッペンづくりでした。見守り隊の皆様と卒業する6年生への感謝の気持ちをこめた、心あたたまる会となりました。



「地区集会施設出前講座」は、地域住民の身近な公共施設である地区集会施設等を、生涯学習の場として活用を促進し、地域における生涯学習の一層の充実を図ることを目的として行っています。今年度も地区集会施設の活用を促進していきますので、出前講座(講師紹介や派遣等)を希望する行政区は、中央公民館までお問い合わせください。

出前講座のメニュー例 →村内外のすばらしい講師を紹介します!

【音楽系】フォークソング(ギター演奏)、ジャズ演奏、オカリナ演奏、リトミック

【芸術系】押し花(作品制作)、茶道体験、ポセラーツ、トールペイント

【食育系】おうちでもできるパン作り(国産小麦使用)、心と体を育む栄養学

【健康系】ポッチャ(交流とゲーム)、フィットネスダンス、心と体を整える(ドライヘッド・足つば)

【その他】大人のための読み聞かせ、インスタグラム(応用編:情報発信とイベント集客等)



令和 8 年度 地域学校協働本部事業 →地域と学校との連携・協働

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、未来を担う子どもたちの育成を学校のみ委ねることは不可能であり、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、社会総がかりで教育活動を行うことが求められています。今年度も、西郷村教育委員会では「地域学校協働本部」を設置し、小中学校 8 校において、地域学校協働活動事業（学校支援・学習支援・放課後子ども教室）に取り組んでいきます。また、村内各校で設置しているコミュニティ・スクールと地域学校協働活動事業が、さらに一体的に推進できるよう関係者と連携を図りながら進めていきます。

令和 8 年度の各事業について

【学習支援（ステップフリー）】…募集については、その都度各学校を通して配布します。

放課後に児童館と小学校で実施する教室、長期休業中の教室、休日に文化センターで行う中学生の教室があり、塾講師などの指導者が児童・生徒の基礎学力向上を目的として指導しています。

<小学生対象> …夏休みの会場は村文化センター

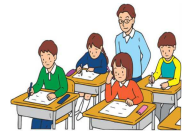
○夏休み学習教室 → 7 / 21（火）、22（水）、23（木）、24（金）

○小学校での学習 → 6月から12月（年間20回程度：熊倉小・小田倉小・米小・羽太小で実施）

<中学生対象> …会場は村文化センター

○1・2年生対象 → 6 / 13（土）から7 / 11（土）の毎週土曜日（午後）5回

○3年生対象 → 10 / 3（土）から2 / 20（土）の毎週土曜日（午前）18回



【学校支援事業】

中学校区のコーディネーターが学校からの要望に応じて地域ボランティアとの連絡調整を行い、学校の環境整備や体験活動等の授業支援を推進しています。今年度も、地域の皆様にご協力いただき、各学校では、安全安心な環境のもと、充実した教育活動を進めていきます。

未来を担う子ども達のため、皆様のご理解ご協力をお願いします。



【放課後子ども教室】

この教室は、子ども達の多様な体験の場、地域の方との交流の場により、未来を担う子ども達を地域で育成していくことが目的です。従って、保護者の方の就労関係でお預かりする児童館とは目的が異なります。また、子ども教室のスタッフが不足している現状であり、定員や参加学年について、学校により条件が異なりますので、ご了承ください。

子ども教室の募集については、4月中旬頃に各学校を通してちらしを配布します。

地域学校協働活動本部事業（R7）

<学校支援事業> →学校の要望に応じて、地域・行政・関係機関等の指導者を派遣しています。

防災教室（羽太小学校）(3/11)

【テーマ】「災害に備えよう」～記憶を教訓にして～

○絵本「きぼうのとり」の読み聞かせ…

「きぼうのとり」は東日本大震災・東京電力福島第一原発事故を風化させないために企画された絵本です。被災された方だけでなく、体験のないも、自然災害の恐ろしさと人間の過信で起こした事故の悲惨さを忘れないため、小学生でもわかるように描いてあります。

この日は、全校生・教職員・保護者・地域住民合わせて約70人が参加しました。初めに福島民報郡山支社の宮武

譲営業部長が、当時の新聞記事を使って震災当時の様子を伝えました。次に、絵本を手がけた「みず文庫」の編集ライターの江藤純氏とイラストレーターのよしもとみか氏が絵本を朗読しました。6年生の児童からは「震災の話を聞いて怖いと思った。自分の身を守る行動をこれから考えていきたい」という感想がありました。

○講話「東日本大震災の記憶～その時、西郷村は～ …渡邊康一中央公民館長

震災の年に勤務していた川谷小学校や国立那須甲子青少年自然の家の様子とともに、学校では教育の歩みを止めないよう、みんなで支え合いながら頑張ってきたことを話しました。最後に「未来をつくるのは、みなさんです!」というメッセージを伝えました。

防災教室の最後は、14時46分に参加者全員で黙とうを捧げました。

